

中期経営計画（2013～2015年度）を策定 Change and Innovation —for the next hundredth anniversary—

住友化学は、このほど、2013～2015年度の中期経営計画を策定いたしました。2015年に開業100周年を迎える当社が次の100年間も発展を継続していくために、対象となるこの3年を「強固な経営基盤づくり」の期間と位置付けています。「Change and Innovation —for the next hundredth anniversary—」のスローガンの下、事業構造、事業分野、企業風土を変革し、経営目標の達成を目指して、「強固な財務基盤の構築」や「事業構造改善」など5つの重要経営課題に取り組んでまいります。

1. 経営ビジョン

- (1) 永年に亘って蓄積してきた技術を基盤にした新しい価値の創造
- (2) 「化学」の力による世界規模の課題（エネルギー、環境、食糧問題など）の解決
- (3) チャレンジ精神にあふれ社会から信頼される企業風土の醸成

2. 重要経営課題

(1) 強固な財務基盤の構築

2012年度比800億円の合理化により、収益性改善を目指すとともに、資産効率向上策としてキャッシュコンバージョンサイクルを2010年度比25%削減する。また、投資の厳選により、2013～2015年度の投資キャッシュフローを抑制し、最終年度には有利子負債残高を9,000億円未満とすることを目指す。

(2) 事業構造改善

不採算事業からの撤退・縮小や、事業ポートフォリオの高度化により、外部環境に左右されにくい高収益な事業基盤の構築を目指す。

(3) 次世代事業の育成

今後も成長が見込まれる「環境・エネルギー」、「ライフサイエンス」、「ICT」分野に重点的に経営資源を投入し、次世代事業の育成を加速させる。

(4) グローバル経営の深化

各事業について、市場、技術、コスト、事業環境など、あらゆる要素をグローバルな観点から吟味し、国境・国籍を越えて、事業における「最適な組み合わせ」を実現する。

(5) コンプライアンスの徹底、安全・安定操業の維持

海外・国内関係会社を含めた当社グループ全体でコンプライアンス体制を維持・強化する。また、安全文化の深化と保安力強化による安全・安定操業の確保を図る。

3. 経営目標

本中期経営計画の経営目標は、最終年度の2015年度において、連結売上高2兆4,000億円、連結営業利益1,400億円、連結経常利益1,500億円、連結純利益900億円と設定いたしました。

2015年度 目標 (連結)	
売上高	24,000億円
営業利益	1,400億円
経常利益	1,500億円
純利益	900億円
有利子負債残高	9,000億円未満

【前提】
為替 : 80円/USD
ナフサ : 60,000円/kl

住友化学グループは、本中期経営計画を迅速かつ着実に実行していくことで高収益基盤を確立し、社会とともに持続的に発展していくグローバル総合化学企業の実現を目指して、力強く前進してまいります。

以上

(注意事項)

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与える重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。